

土井復興副大臣の衆議院議員会館における被災地支援取組
の視察ぶら下がり会見録

(平成30年3月7日(水) 11:37～11:40)

於) 衆議院第一議員会館地下1階食堂前)

1. 質疑応答

(問) 本日から、宮城県のフェアに切り替わりましたが、こういう復興フェアがあるっていうのはどうですか。

(答) 嬉しい限りですね。今、販路開拓やいろいろな形で被災3県のみならず、東北の食材や物産というものを、是非、もっともっと知っていただきたいという形で進んでいます。そういう中で、こういう衆議院、参議院の議員会館の中でもこういう取組を頂くというのは大変幸せでありまして、こういう機運をもっともっと復興庁としても盛り上げていくような努力をしていかなきゃいけないというふうに思います。

(問) 今週は3.11にも近づいてということですが、まだまだ風評被害とか今、復興庁もすごく取り組まれています、まだ課題はやっぱり多いですね。

(答) 3.11で、もう7年経ちますので、しっかりと新しい東北という意味で復興に取り組んでいかなきゃいけません。ただやっぱり被災地ごとにいろいろな課題も残っているというのも承知していますので、しっかりと取り組んでいくということだと思います。また、こういう形でイベントやフェアをやっていただくというのは、3.11が近いからということじゃなくて、やはり常にこういう形でやっていただくということが風評払拭につながっていくというふうに思いますので、特別な3月11日という思いがあるながらも、引き続き継続してこういう形でお取組を頂けるようなそういう努力というの、復興庁はやっていかなきゃいけないなというふうに思います。

(以 上)